標本棚 私と音楽

クラシックギターと私

新堀ギター音楽院
情報部スタッフ
佐藤　敏優

高校入学すぐの頃、何か趣味を持ちたいと思っていた私の目に、通学バスの中から偶然「新堀ギター」の看板が目に入り、直ぐに「新堀ギター音楽院・横須賀教室」の門をたたいていたのです。その頃はまだ、教本・曲集・書籍、音源(CD)・映像(DVD)など、音楽を楽しむための指導法が既に確立されている教室とは知りませんでしたが、新堀ギター音楽院のモットーは、”音楽は上手くなるためにではなく、楽しく続けていているうちに、気がついたら上手くなっている“と言うものでした。

週に一度の”ギターの合奏“や、生徒同士の”アンサンブル“で一つの曲を作り上げていくことなどの活動は本当に楽しいものでした。週一度の練習と音楽仲間との会話も楽しい時間で、今日の私の生活に生きていると思っています。

ギターの種類は多いのですが、持ち運びできることが大きな特徴の一つで、歌いながらの弾き語りや独奏でメロディーと伴奏を、何処でも自在にこなすことができます。また、手にして直ぐ弾く事が出来るのもギターですが、これを極めるのには、ある意味でどの楽器よりも難しいと言われています。材質上生き物のように、季節・環境・温度・湿度などによって弦や木部の状態が微妙に変化しますので、ホールでの演奏や、スタジオ録音などでも、その環境で音色が変わります。私たち奏者は、何時何処でも常に最高の音色で伝わるように弾き方を調整しながら演奏しております。

メインワークは、カメラを片手にミニコンサートや新堀グループの三つの音楽専門学校の演奏会などを撮影してのインターネットの更新ですが、ギターオケストラなど、演奏会に出るときはアルトギターを担当します。

新堀ギター音楽学院は、院長の新堀寛己博士が、戦後の教室創立時に掲げた”心の糧になる良い音楽を全ての人々へ“をモットーに、世界をまたに掛けた”平和心育む音楽“の演奏活動が大きな評価を得ております。創立五十周年を迎えた新堀ギター音楽院の、今年のメインコンサートは東京オペラシティーコンサートホールで九月に行いました。海外公演は、十一月十七日にドイツ・ミュンヘン「シティーホール・ギャーマリング」で、オーストリー・ウィーン公演は「ウィーン楽友協会黄金ホール・ムジーク・フェライン」で十一月十九日に行います。この他、毎年ムード溢れるクリスマスチャリティーコンサートも全国ツアーで行っております。

ホームページには、無料のミニコンサートなどイベント情報の一覧もあります。どうぞお気軽にお出かけ下さい。

私とオペレッタ

裏千家淡交会世田谷白雲青年部
岩上　富士江

はじめにお断りしておくと、「私とオペレッタ」などと語れるほど、詳しいわけではないのです。むしろ、読者の皆さんの中にこそ、見巧者の方がたくさんいらっしゃるでしょう。しかしながら、歌舞伎を中心に舞台が大好きな私に〝舞台の神様〟が粋なご縁をくださいました。

今年、創立三十周年を迎えた(財)日本オペレッタ協会会長で演出家の寺崎裕則氏と、奇遇にも小学校の先生が一緒(もちろん、四十余年を経てですよ!)だったのです。

オペレッタ(operetta)は、一九世紀中頃ヨーロッパで成立した軽快な歌劇。オペラが歌唱を中心に演じられるのに対して、独唱、合唱、踊りに対話型のセリフも交えるのが特徴で、のちに海を渡りアメリカで生まれたミュージカルの起源になりました。

オペレッタのストーリーは大抵、大人の男女の恋物語。ちょっとした行き違いから始まる恋のどたばた、男と女の意地の張り合い、ため息、笑い…。

美しいメロディーに、夢のようなコーラスに、華やかな踊りに、いつしか観客は惹きこまれていきます。

そしてお約束のハッピーエンド。幕が下り、なんとも言えず温かくなったハートを抱いて家路につくとき、テーマ曲がいつまでも頭の中に響き、いつしか口ずさんでしまうのです。

オペレッタは大人のメルヘン。寺崎氏の言を借りれば「働き蜂が羽を休め、元気回復の源となる心のオアシスがない。それには理屈抜きに楽しくて面白く、しかも深いオペレッタに限る」。

一度、瑞々しい恋の舞台へ、足をお運びになってみませんか。

都心の森

元神奈川県立生命の星・地球博物館館長
青木　淳一

東京といえば日本最大の都市。だから都心部は、さぞやビルが密集し、緑のかけらもないと思われがちだが、実は都心部にもっとも多くの緑を抱えている都市が東京なのである。

大阪の人には悪いが、大阪には本当に緑が少ない。お城のある都市でも、緑はその周辺だけである。

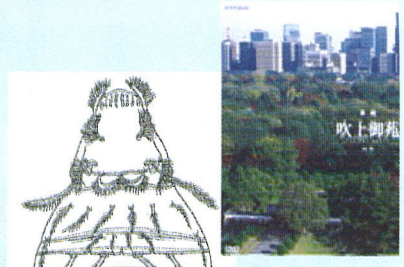
昨年、NHKが「皇居吹上御苑の四季」という番組を制作するにあたり、私も狩り出された。今までにも何回か、生物調査のために特別許可を得て皇居に入らせていただいたが、都会の喧噪を完全に遮断する深い森と、静かな水を湛える池。そこには本来東京に生息・生育する動植物が、ひっそりと息づいている。

昭和天皇が皇居の中だけは農薬を撒かないようにと指示されていたせいもあろう。

私の専門のダニに関しては、ムクノキの大木の根際の落ち葉の下から新種が発見され、ミカドカザリヒワダニと命名した。

東京には皇居だけではない。赤坂御所、明治神宮、新宿御苑、自然教育園、後楽園、小石川植物園など大きな緑地がある。

ただ、これらの緑地が我がもの顔のカラスに占領され、小鳥たちを追い払ってしまうのには腹が立ってしかたない。



ミカドカザリヒワダニ

羽音

害虫に対する大団扇の威力

筑波大学名誉教授
草野　忠治

三重県志摩郡磯部町の伊雑宮(イザワノミヤ、豊受大神宮の別宮)の御神田で御田植祭が六月二十四日に行われた。

神事の後、神官、諸役人、楽人、立人(タチド)、早乙女らの行列は楽器のお囃子に合わせて御神田に到着した。

御田の畦の中央には、大きな団扇二枚と笹竹を付けた十メートル位の太い忌竹が立てられた。

一番上の円形の団扇には、盆台に松、梅、亀、鶴、右上に太陽、左上に月が描かれていた。

この団扇の下の軍配形の少し大きい団扇には、帆掛船(宝船)と波が描かれ、帆には太一(タオ)の字が見える。帆の上に、赤い宝珠がある。太一は北斗星神・妙見菩薩を表し、密教、日蓮宗などの星祭の御本尊である。

伊雑宮のお田植祭に立てられた大団扇

これは道教と共に伝わった信仰であり、国家鎮護・災異消滅・豊作招来を祈願する星祭ともいう。

北極星神信仰がこの祭に取り入れられ、この神の宿る大団扇は害虫の災害を払う威力もあるのであろう。

この忌竹は神官の合図で、立人が支持杭より解き放ち、御田に向かって、三回、扇ぎ、次に御田の側に倒された。

参詣の漁村の青年達は竹幹などを切り裂いた破片や宝珠を奪い合った。これは漁船の船霊(フナダマ)として、船の守り神とするという。

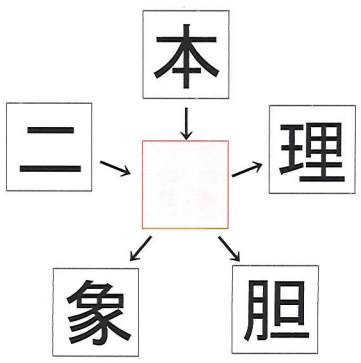
その後、御田内の苗代より苗取りの行事があり、次に田楽祭が行われる。横笛、ささら、太鼓、小鼓のお囃子で、高砂、羽衣などの謡がある。立人、早乙女の各六人は、これに合わせて後ずさりをしながら、苗を植えて行く。

次いで、中休みの酒宴となる。この時、「さいとりさし」という田舞いが演じられる。

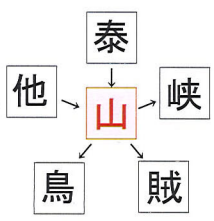
その後、再び田植えが行われ、午後二時過ぎに終わった。奉仕者らは踊りながら宮に帰還された。

むしくいず

●問題●　周囲の５個の漢字と、それぞれ２文字熟語になるように、真ん中の四角の中に漢字を１文字入れてください。その漢字が答えです。



【例　題】



◆応募規定　ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。
〒105-0014　東京都港区芝2の23の4
アペックス産業㈱内　APEX　CLUB宛
ファクシミリ番号　03-3455-6558
締切りは平成20年2月末日(火)(当日消印有効)
正解者の中から抽選で若干様に記念品を差し上げます。

★前号の正解と当選者(順不同)
正解は『175』でした。
当選者：小沢摩希子、島田麗子、山岡文夫の３名様です。